

東 鋳



令和6年1月1日

通巻234号

発行

東京鋳螺協同組合

東京都墨田区押上1-32-12

TEL. 03(3613)4141

『江東区の青龍』

撮影場所

都営新宿線
東大島駅前広場

撮影日

2023年11月2日

撮影者

墨田支部
マハナネジ株式会社
真嶼耕治氏



目次

年頭所感	理事長 新保良孝	2
新年賀詞交歓会案内		2
第六十四回通常総会について		3
委員会だより		4
流通経営委員会		4
福利厚生委員会		6
千支を迎えて		8
還暦を迎え	山本竜太郎	8
さあ、還暦を迎えられるのか？	中村勝士	8
千支を迎えて	酒巻典央	9
AIの力を借りて	小池昌彦	10
還暦を迎えて	鈴木 悟	10
支部だより		11
令和五年度研修旅行のご報告	昌栄支部	11
中央支部・城南支部 合同例会	城南支部	12
台京納涼会	台京支部	12
螺旋に負けた湯河原の夜	墨水支部	13
2023年度を振り返って	港 支部	14
泰鋳会だより「泰鋳会旅行記」	松原拓哉	16
東鋳ゴルフ会報告		17
組合の会議から		17
シリーズ「私の逸品」		17
マハナネジ (株) 真嶼耕治		18
マハナネジ (株) 遠藤達夫		19
遠藤精螺工業 (株) 真嶼耕治		19
マハナネジ (株) 真嶼耕治		19
情報室		19
表紙のことば		19
計報		19
小林潔さんに感謝を込めて哀悼の意を捧げます		20
前理事長 馬場美由紀		20

年頭所感



理事長 新保良孝

明けましておめでとうございます。

2024年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



2023年も2022年に引き続き戦争や軍事衝突が多い一年となりました。ロシアによるウクライナ侵攻は、まだ終息の目途が立たず膠着状態が続いています。また2023年10月にはイスラエルとハマスの軍事衝突により大きな犠牲が出ており、深刻さを増しています。そしてこれほど毎日のように、多くの戦闘映像を目にするのは、はじめての事です。早期の終息を願わずにはられません。

世界経済は、米国を除けば停滞もしくは減速しており、不透明感が増えています。各国の中央銀行の政策の違いもあり、円の独歩安と言っている状態です。資源、エネルギー関連の輸入価格は高止まりしており、光熱費、ガソリン代等の高騰が企業収益に及ぼす影響は無視したい状況です。それから今年は、いわゆる2024年問題による物流の混乱・運送費の値上りが想定されています。また現在、日本経済はバブル崩壊後30年間続いたデフレからインフレへの転換点にあり、人手不足や人件費の上昇への対応も各社、頭の痛い問題だと思えます。

しかしながら、ねじ業界は過去、大きな不況や災害を乗り越えてきた実績と底力があります。各社の創意工夫で乗り越えていけると思っています。

組合行事は、2020年からの3年間はコロナ禍の影響もあり、多くの制約の中で活動を余儀なくされてまいりましたが、昨年は、コロナ禍前の組合活動をほぼ取り戻す事が出来ました。組合活動以外にも、各所でいろいろな行事が再開され「4年ぶり」という言葉をいろいろな所で耳に致しましたし、私自身も挨拶の中でよく使っていたように思います。また、リアルで会う事のメリットも各所で感じる事ができました。まだまだ、気を抜く事は出来ませんが、皆様が「明るく前向きな気持ち」になれますように、今年も組合の各行事を執り行つて参りたいと思っておりますので、積極的な参加をお待ちしております。

皆様のご発展とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

新年賀詞交歓会案内

新年の賀詞交歓会を左記の通り開催いたします。

組合員が一同に会しての気軽なパーティーですので、お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い致します。

また、従来はお声かけを致しておりましたが、お声かけを控えさせていただきます。総務委員会で議論を尽くしました結果、今後はお声かけを控えさせていただきます。

なお、当日、令和六年度干支（辰年）に当たられる方には、組合より記念品をお贈りいたします。

期 日 令和六年一月十日（水）
 時 間 午後五時～六時三十分まで
 場 所 第一ホテル両国
 会 費 無 料

第六十四回 通常総会案内

組合では、令和五年度の事業報告及び決算報告、令和六年度の事業計画案、収支予算案のご承認をいただくため、このたびは城南支部のご担当により別記の通り「トラストシティカンファレンス・丸の内」において、第六十四回通常総会を開催いたします。組合員の皆様には多数のご出席を賜り、盛会かつ有意義に開催されますようご協力をお願い申し上げます。

なお、詳細ご案内は一月中旬に組合より発送いたしますが、委任状も兼ねておりますので、ご欠席の場合も必ずご返送ください。

開催日	令和六年二月十九日(月)
場所	トラストシティカンファレンス・丸の内
議案	一号議案 令和五年度 事業報告承認の件 二号議案 令和五年度 決算報告承認の件 三号議案 令和五年度 剰余金処分案承認の件 四号議案 令和六年度 事業計画案承認の件 五号議案 令和六年度 収支予算案・経費の賦課金額及びその徴収方法決定の件 六号議案 令和六年度 役員報酬決定の件 七号議案 令和六年度 組合借入金最高限度額決定の件

● トラストシティ カンファレンス・丸の内

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-8-1

丸の内トラストタワーN館11階

● 第一ホテル両国

〒130-0015

東京都墨田区横網1-6-1





流通経営委員会

流通経営委員長 (株) 鉾定本店 金 枝 総 吉



◆ねじ流通商工懇談会
開催日 10月12日(木)、
午後6時～8時30分

10月12日第一ホテル両国にて東部ファスナー協同組合とのねじ流通商工懇談会を行いました。

東部ファスナー側12名、東鉾側13名の参加者でコロナ禍を経て4年ぶりの対面形式での開催となりました。

仕入価格上昇による客先への価格転嫁、人材不足や賃金アップなど従業員の対応、後継者不足など仕入先廃業対策をテーマにテーブルごとに懇談会を行いました。

その後、食事や歓談を行いながら各テーブルの懇談内容を発表していただきましたが、各社ともに同様の課題があり、参加された企業それぞれが対策などを話し合いながら有意義な時間を過ごすことができました。



新保理事長 挨拶



東部ファスナー協同組合 望月紀人 理事長 挨拶

懇談会の様子



東部ファスナー協同組合 山村 篤 副理事長 による乾杯の発声



講師の細木友佳氏

11月1日開催した流通経営セミナーでは体のコンディショニング指導等を行っている株式会社 SlimTrecan 代表取締役 細木 友佳様を講師に招き、健康経営について講義をしていただきました。

高齢化や少子化による人材不足が社会問題化しています。が、そうした対策の一つとして従業員がながくいきいきと健康に勤務できる環境づくりが求められています。

オフィスで簡単にできるストレッチなどの実技も交えながら体をリフレッシュし、社員の健康を維持していく方法について学ばせていただきました。

◇第2回セミナー開催報告

開催日 11月1日(火)、午後6時30分～8時

講師 細木 友佳 氏 (株式会社 SlimTrecan 代表取締役)

演題 中小企業のための健康経営

↳ 導入のメリット及びその留意点について



セミナーの様子



福利厚生委員会

4年ぶりの東浜支部対抗ボウリング大会

福利厚生委員長 (有) 齋藤 鉄 齋 藤 隆 司



2023年10月28日の土曜日「品川プリンスボウリングセンター」にて、東京浜螺協同組合4年ぶりの支部対抗ボウリング大会が開催されました。

組合の歴史の中で、支部対抗ボウリング大会が発足してから4年間開催が中止だったことは一度としてなく、会社を安定的に経営しながら業界の仲間たちとレクリエーションを楽しめる環境が、いかに当たり前ではなく平穩であるということを感じた一日でした。

そんな平穩な日々感謝しつつボウリング大会の結果のほうはスペクタクルでハイレベルな大会となりました。

まず支部対抗団体戦は、開催当日の数時間前に会場入りし、事前練習でコンディションを整え大会に臨んだ草加ネジメンバーを中心とした墨田支部。

4名の平均スコアも2ゲーム合計330点以上の高水準でまとめ、1323点と過去20年でも高い水準スコアで優勝しました。2位は港支部の1180点で追随しました。

来年墨田支部にはマイナスハンデも検討しなければならぬほどの高スコアでした。

来年は他支部も墨田支部対策を取って臨んで頂ければと思います。(事前練習・マイボール購入費は各社持ち(経費)でお願いいたします。)

個人の部では、優勝(第一位)が草加ネジ(墨田支部)の英利昭選手の2ゲーム合計396点。

あわや1ゲーム平均200点に到達するような高スコアでした。第

二位は宇都宮螺子(港支部)の本間光雄選手で2ゲーム合計376点。支部対抗ボウリング大会後に個人で大会にも参加するセミプロの方で上位2人はかなりのレベルで競われていて、ネジ屋のボウリング大会とは思えないほどのストライクの嵐となっていたのが印象的でした。ボウリング終了後は、中国料理『品川大飯店』にておいしい中華料理を堪能しながら、各支部交流をしながらのボウリング大会結果発表と懇親会となりました。

各支部の方々の笑顔を数年ぶりに拝見でき大変有意義な時間だったと感じております。

2024年はコロナ禍が明けての新しい1年となります。

昨年までの3年間はなるべく人とは距離を取り、3密回避を基本としたコミュニケーションが主流で当たり前になってしまっていました。2024年は東京浜螺協同組合福利厚生委員会の取り組みとして、各支部・各会員がコミュニケーションをたくさん取っていただけるようなイベント・レクリエーションを創ってまいりますので、何卒宜しくお願いいたします。



支部優勝 墨田支部の選手



個人優勝
草加ネジ(墨田支部)英利昭選手

新保理事長による始球式



齋藤委員長の挨拶

競技の様子



懇親会の様子

干支を迎えて

還暦を迎え

昌栄支部 ボルトン工業株式会社

山本 竜太郎

(昭和三十九年四月生)



かつて「今年初めての還暦を迎えまして……」とインタビュを沸かせたのは長嶋茂雄さん。

ユーモア溢れる一言は動画にも残っていて当時はまだ若々しくキレキレだ。

自分とはまだ若々しくキレキレだ。どちらかというところだ。一周廻って生まれ変わる節目と言われるが、叶うなら身体も脳みそも一度シャキッとリセットしたいものだ。若い頃は何事も先輩から学び取れと言われ意識的にそうしてきたが気づいた頃には廻りに年上がいない。今は仕入先とのやり取りは年下もしくは年齢不詳の Web 発注システムが相手だ。それはそれで受け入れているが何せ叱ってくれる先輩が減ってゆくのは寂しいものだ。ついでにこぼすとクリックすれば明日品物は届くが、「まいど！ おおきに……」の人懐こい声は聞かなくなった。

プライベートでは同世代とのやりとりが増えている。先日の同級生仲間とのゴルフは 1 組目 4 人の全員が循環器系カテーテル手術の経験者、2 組目 4 人は尿管結石の経験者。その日は管組と石組でランチのつまみを勝負、ポンコツ同士楽しいラウンドだった。かつては出世話し、愛車自慢に内緒話しで沸いたものだがめっきり話題も変わり、定年退職、病氣自慢に孫自慢、親の介護話しになると聞くも語るも真剣そのもの、それでも何だかホッとす。平和ボケと言われてもしかたないが気を許せる仲間や家族と週末に自然の中で楽しめることは老化進行中であろうが、少々のお悩みを抱えていようが気持ち安らぎ有難

いものだ。

仲間の支えが有難いのは東浜も同じだ。相談事があると誰かに聞けば答が返ってくる。コロナ元年の 4 年前、揃って売上も減少し、未知で不安な頃、この先どうする問題を支部会後の帰路に都電荒川線(チンチン電車)の中で熱く語り合ったことは忘れられない。自分の思いを明確にする決め手になった。

今年 2024 年、以前から問題の物流・運送・建設・医療における働き方改革関連法の影響は間違いなく私たちのビジネスや生活に影響があるだろう、さらに気候変動による大雨の災害も年々深刻だ。そんな時代だからこそ情報交換を重ねて、気づきのチャンスを得られたらさらに有難い。還暦だからと下を向いたら背中が曲がる、上を向いたら石に躓く。しっかりと前を向こう、そして若者に耳を傾け、同世代と励まし合いつつ、何より元気に活躍中の先輩方の背中を追いかけよう。よし今年の抱負を今決めた。

「一日 15000 歩・ストレッチ 60 分」いや無理だな……「10000 歩・20 分」にしておこう。何事も身の丈だ。

出来ることからちよつとずつ三歩進んで二歩下がりが一日一回大笑い。そして六十代も「仕事は楽しむ」を継続していこう。本年も宜しくお願い申し上げます。

さあ、還暦を迎えられるのか……？

城南支部 株式会社中村商会

中村 勝士

(昭和三十九年五月生)

明けましておめでとーございませう。待ちに待った辰年です。

五月になるまで存命でいられば、晴れて還暦を迎えることになりそうです。

私の父は五十九歳で亡くなりましたので、残念ながら還暦を迎えることが出来ませんで



した。生きてきた日数にすると、すでに父より長命になってしまいました。父よりオヤジ臭を発していると思うとゾッとします（苦笑）。この先、父より老けていくことになるのですが、老化に抗って頑張って生きていきたいと思います。

社長歴は父を越えており、不況下の中で何一つ継承されることも無く頑張ってきたと自分を褒めてあげたいと思います。私が社会人になった時は勤務先も六十歳定年制で新人の私には定年される方はいちやんにしか見えませんでした。

ですから、私もここらで定年したいくらいの気持ちで仕事を少しセーブして余生を楽しむ時間も作って行ければと思います。皆々様からの遊びのお誘いを心よりお待ちしております♥

干支を迎えて

墨田支部 株式会社サカマキ

酒 巻 典 央

(昭和三十九年七月生)

新年あけましておめでとうございます。今年辰年、私も還暦という年を迎えることとなりました。

さて干支と十二支が同じ意味だと思っっている方が多いと思いますが、2024年の辰年は本来の干支でいうと甲辰（きのえ・たつ）。は本来的な干支でいうと甲辰（きのえ・たつ）。辰年である事以外にも込められた意味があります。それぞれ独自の意味を持っており、「甲」が持つ意味は、第一位であり優勢である事を表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しています。そして「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍（竜）を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は竜巻や雷などの自然現象を起こす大自らの躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。この二つの組み合わせである甲辰には「成功という芽が成長していき姿をととのえていく」といった縁起のよさを表しているといえそうです。



辰年を振り返ると1988年には日本の土木史上空前のスケールを誇る青函トンネルが開通しました。2000年には高橋尚子や田村亮子などの活躍で女子初の金メダルを含めて過去最高となる18個のメダルを獲得しました。また2012年には京都大学の山中伸哉氏がIPS細胞の発見でノーベル生理学・医学賞を受賞する等どれも世界に誇る成果を上げてきた年となりました。

近年、コロナの大流行から始まり、ウクライナ・ロシアの戦争、そしてイスラエル・パレスチナ紛争と世界情勢が目まぐるしく変化していき、日本、私たちの業界にも影響が色濃くなってきました。更には中国や韓国の急成長により、日本が追う立場の分野もかなり多くなってきました。しかしこういいう時だからこそ日本人の緻密さ勤勉さを生かし最高品質の物づくりで世界をリードして飛躍する事を目指さなければならぬと感じています。

私事ではありますが、これまでの人生の中で多くの節目がありました。大学卒業後に就職しました証券会社から始まり、その後両親の出身地である北海道の親戚が経営する造林造材・競走馬育成業に10年間従事しておりました。叔父の急逝で現在の（株）サカマキを引き継ぐこととなり、右も左もわからないまま従事して、数年後には少しずつながらも仕事を任されるまでになりました。代表取締役就任して24年が経とうとしています。この道は必ずしも平坦ではありませんでしたが、お取引会社のご理解とご協力があったこそ、事業を継続する事が出来ました。私生活では4人の子供たちが私にとっての宝物です。子供たちの成長や活躍を見守る中で、私自身も家族とともに歩む中で喜びをかみしめています。家族の支えがあったこそ、仕事においても前向きに取り組むことができます。

干支が巡り、還暦を迎えるこの節目の年に、これまでの感謝を胸に、新たな一歩を踏み出す覚悟をしております。これまで周囲の皆様にかけて頂いた経験を糧に、感謝の気持ちを少しでも皆様に還元出来る様に関係各社との協力を深めてまいります。

最後になりましたが、冒頭にも言いましたように今年、辰年は飛躍の年です。皆々様にとって希望に満ち、成功と幸福が訪れる年となります様、心よりお祈り申し上げます。

AIの力を借りて

東京支部 株式会社小池製作所

小池 昌彦

(昭和二十七年二月生)



最近のニュースでは、将棋の藤井聡太八冠がAIを活用して無敵の活躍をしているという話をよく見ますし、彼より若い人も活躍して来そうです。

私より年上のプロ棋士はいませんし、これから強くなるので、しょうがないとあ

きらめています。

AIを活用すれば何かの分野で一発逆転が出来るかもしれないと思っています。

AIがこの数年で急激に発展したようなので、皆さんが素人に近い段階ではないかと想定すると、もしかしたら、私でも何か役に立てて逆転できる分野があるかと夢想してしまいます。

私は36年前にデータベースを懸命になつて身につけて、それをずっと使ってきて、私としては成果が出たと思いましたが、自分流でソフトを使ったため結果としては疑問符がつくものになっています。

データを集めて人の相性とか物との相関性とか、自分で調べて推定できれば面白いと思います。

私は最近、ボケてきたようで心配なこともあります。AIの力を借りて新しい時代を生きていきたいと思えます。

ARTIFICIAL INTELLIGENCE



還暦を迎えて

山之手支部 株式会社鈴木螺子工業

鈴木 悟

(昭和三十九年七月生)



皆様、新年明けましておめでとうございます。私も本年7月に還暦を迎えることになりました。

正直、あまり実感がわきません。28歳の時に父の会社に入社いたしました。

三十年も経ってしまったわけです。

光陰矢の如しとは、全く持つてそのとおりで。

この三十数年、本当に色々なことが有ったと思います。リーマンがあり、コロナがあり、その都度その都度、どうしようかと思ひ悩みましたが、今思えば、懐かしく、よくやってきたと自分をほめてあげたいものです。

自分の人生を箱根駅伝に例えるなら、自分は今、箱根の山を駆け下り、日本橋に向かって、どの辺を走っているのでしょうか。

数々の駅伝の歴史の中で、後半でも数々の感動がありました。

さあ、また、走っていきましょう。新たな感動にむかって。本年も宜しく願います。



支部だより

令和五年度研修旅行のご報告

昌栄支部

(有) トキザキファスナー 時崎雅広



私たち昌栄支部では、十月十四日～十五日に総勢十五名で研修旅行に行つて参りました。私にとつては二回目の研修旅行です。私が入会した年にコロナ禍になった為、支部の行事はほとんど行われず、支部の皆様顔と名前を一致させるのに苦労しておりました。昨年から再開されたこの旅行に参加したことでその問題が解消されたことを思い出します。

今回の行先は、童話「舌切雀」誕生の地である磯部温泉です。宿泊した磯部ガーデンの館内には、舌切雀伝説ゆかりの品々が多数展示しており、とても賑やかで楽しいホテルでした。群馬県安中市にある温泉街で♫マーク発祥の地でも有名なところですよ。

初日は秋晴れのとても清々しい日で、絶好の行楽日和となりました。十一時三十分上野駅集合で、新幹線の出発まで昼食をとつて待つことになっていました。予約してあったお店に入り、軽いミーティングの後の食事でしたが、そこは昌栄支部スタイルというべき飲み放題プランになっており、エンジン全開での出発となりました。

新幹線から在来線へ乗り継ぎ、およそ一時間で最寄りの駅に到着です。駅からホテルまで徒歩五分という好アクセスで、あつという間の道のでした。夕食までは予定はなく温泉に入ることに。大浴場が二か所あり、たくさんのお湯を楽しむことができました。皆さん日頃の疲れが取れたことと思います。夕食は、群馬の食材を活かした豪華な

ものでした。山菜や上州牛を使った料理など品数も多くとても美味しかったです。お酒も進み大変盛り上がった宴会となりました。夕食の後は、部屋で二次会をされたり、マッサージをされたりと各々が自由に過ごされたみたいです。

二日目は初日と打つて変わつて雨模様の日となりました。肌寒く上着がないといられないほどでした。お土産を買い込み帰宅の途につくことに。正午ぐらいに上野駅に到着し解散となりました。

この二日間は大きな問題もなく、昌栄支部の親睦がさらに深まった旅行になったと思います。今年はインバウンドなど観光需要が急回復したことがあり、旅行の予約が大変取りづらかつたと聞いております。この旅行を計画され、ご苦労された幹事の方には感謝申し上げます。



中央支部・城南支部 合同例会

大栄工業(株) 大西 範彦 | 城南支部 |

令和5年9月12日(火) 維新
 銀座新館にて中央支部・城南
 支部の合同例会を開催致しま
 した。(参加人数 中央支部4
 名、城南支部12名)

(株)中村商会 中村様の司
 会進行のもと、各支部長のご
 挨拶を日章銀螺(株)小口様・
 (資)笹岡製作所 笹岡様に
 お言葉を頂戴し、(株)マツシ
 マ 松島様の乾杯のご発声によ
 り宴がスタートしました。

昨年より予定していた合同例
 会でしたが、新型コロナウイルスの影響
 で昨年は開催出来ず、今回に持
 ち越されたこともあり、宴は終
 始楽しく笑い声の絶えない雰
 気でした。今回初めて合同例会
 に参加させて頂き、初めてお会
 いする方と顔を合わせて話が
 出来たことは本当に有意義で貴
 重な時間になりました。

また、維新號さんの中華料理はどれも絶品で、中でも北京ダックはその見た目の高級感から食べてみて幸せな気分になりました。料理が美味しいとお酒もすすみ、皆様との会話が楽しく「あれ? 普段より酔いのペースが早いなあ」と気が付いた時には、時すでに遅し、酔いが回っておりまして。



楽しい談話の中、「1人1分で自己紹介をお願いします。」と中
 村様の進行で参加者の自己紹介タイムが始まりました。皆様それぞれ
 に個性にあふれた楽しいお話で、そのお話を酒の肴にビールを飲ませ
 て頂きました。最高に美味しいビールでした!
 楽しい時間はあっと言う間で、(株)シンボ 新保様の締めのご挨拶
 と三本締めにて閉会となりました。コロナ明けで久しぶりにお会い
 する方もあり、皆様の笑顔が大変印象的な合同例会となりました。
 今回開催にあたり、様々なご準備をして頂いた、幹事の新保様・中
 村様に感謝申し上げます。有り難う御座いました。

台京納涼会

(株)小池製作所 小池 昌彦 | 台京支部 |

9月9日の土曜日の13時に台京銀螺会
 の納涼会が4年ぶりに開催されました。
 神保町駅から2分という老舗の名店、
 揚子江菜館の4階を貸し切りにして竹内
 支部長ご夫妻の主催で2卓に15名の参加
 で開始です。

竹内さんの挨拶から深澤さんの乾杯の
 発声により、中華料理のコースと酒の飲
 み放題が運ばれてきます。

ビールやウイスキーや老酒がどんどん
 開いて来て、皆さんの会社の状況や力を
 入れている分野などの報告を各自から発
 表されました。

4年ぶりの納涼会で今年は酷暑が続い
 で大変でしたが、皆さん中華料理も平ら
 げて満ぶくになって帰って行かれました。



篠田前支部長は8年間お疲れ様でした。竹内支部長にはこれからも宜しくお願いいたします。

「螺旋に負けた湯河原の夜」

墨水支部
——
内田 佳菜子
——
(株) トウヨーネジ

季節外れの暑さがようやく落ち着き、一気に肌寒さを感じるようになった11月11日(土)、12日(日)に墨水支部旅行が開催されました。

参加者は10名。私は旅行初参加でしたが、墨水支部も女性の旅行参加は今回が恐らく初めてだろう、とのこと。過去の旅行の話はよくよく伺っていたので楽しみにして箱根方面へいざ出発。

バス移動ではいつもなら出発と同時に次々とプルタブが開く音がするらしいのですが、あれ？ この日はなかなか鳴らないぞ……。どうやら道路が渋滞していてトイレを気にするあまりなかなかスタートが切れない様子。ただ少しすると「プシュッ」「プシュッ」と聞こえてくるように。車内の会話も弾みつつ、渋滞に足を取られながら予定時間を少し押しした状態で最初の観光場所「成川美術館」に到着。

成川美術館は両国国技館の設計を手掛けた建築家・今里隆の



設計によるもので、両国国技館がそばにある墨水支部が訪れるのは偶然か縁か。展望ラウンジから眺める芦ノ湖と箱根神社の景色はまるで一枚の絵画のように構図が計算されているようでとても素敵なお眺めでした。

現代日本画の素晴らしさに触れた後は、同じく芦ノ湖畔にある山のホテルで昼食。

改めて全員で乾杯して旅の無事を願ったらハンバーグランチを堪能。その後、熱海方面へバスを走らせます。

熱海市では「熱海の三大別荘」と称賛された名邸が基となる起雲閣を見学。

各部屋は庭を囲んだ回廊のような造りで、石川県加賀地方の伝統的な技法で塗られた群青色の壁が印象的な和室や、ヨーロッパのデザインを基にした洋室、ローマ風風呂など、さまざまな世界観を味わえます。

そしてバスは今回のお宿「湯河原温泉 山翠楼」へ。湯河原温泉のなかでも昭和8年創業の老舗旅館。しばし温泉や部屋でくつろいで過ごします。

さて、いよいよ宴席の時間。配膳担当は青森県出身の仲居さん。ベテランの雰囲気を感じますが最近上京して働き始めたようで、濃厚な青森の方言で料理の説明を聞いたり、会話をしていると何だかだんだん青森に旅行に来たような錯覚が……。しまいには受け答えも方言につられそうになる私。おしながきも料理長の想いがびっしりと書き込んであり、誰かがその絶妙な表現に「まるでプロレス選手の紹介みたいだ」と言ったところ、K氏がそれっぽくメニューを読み上げて大盛り上がり。

宴もたけなわの頃、H氏が浴衣からサッカーの副審の格好に衣装チェンジ。どうやら墨水支部の旅行では恒例らしい。そして当たり前のようにH氏から主審のユニフォームを手渡される私。「……え？」

旅行初参加の洗札なのか、私も主審役に「変身」することに。一瞬ためらったものの、「公式の審判ユニフォームを着られる機会なんて滅多に無いぞ！」という声にまんまと乗せられてさっさと変身。宴席で「反則」したメンバーにイエローカードやレッドカードを出すのが

恒例とのことでしたが、今回のメンバーは全員「反則」しなかったの
で残念ながら(?)カードの出番はありませんでした。

その夜は部屋で二次会を開催。(私は引き続き主審の格好のまま
……)次々と持ち寄りのお酒を空けていくなか、K氏がワインボトル
をスクリュータイプのワインオープナーで開けようとしたところ、コ
ルクが乾燥していたのか失敗。そこでワイン通のT氏が自前のオープ
ナーで再度チャレンジを試みる。10分……いや、15分は格闘したで
しょうか。開かない。むしろ穴がどんどん大きくなってしまふ。よ
し、いっそのこと貫通させようとな이프ではじめる。コルクのカスがボ
トルの中に入っているの、どうやって飲むかと考えていると「茶
こしがあればなあ」「あ、急須!急須に注げば」という声が上が
り、ようやくコルクが貫通したワインを急須に入れ、急須からワインを注
ぐという新しい飲み方を体験した私たち。

そして、最初にワインオープナーを使ったK氏が「ねじ屋なのに螺
旋に負けた……」とポツリ。



H氏「いいねえ、螺旋に負けた夜だね」
私「それ(旅行記のタイトルに)いただきます」
くつろぎながらの二次会も盛況のうちに終了し、翌朝は自由解散で
各自帰路へ。

コロナ禍以降4年振りの旅行はすべての予定を無事終えることがで
き、私の荷物もお土産と主審のユニフォームでパンパンになりました。

『2023年度を振り返って』

港支部 | 野口俊家
(株)ユタカ産業

2023年度港浜螺会の活動報告をもって新春の支部便りとさせて
いただきます。今回は企画として宇都宮高明会長へのインタビューと
いう形をとったお便りとさせていただきます。

例年港浜螺会の活動は12月の役員会、総会・忘年会から始まって年
明けの一連の新年行事と東浜協総会を経て、3~4月の観桜会から墨
田支部様との合同例会含む例会での各社近況報告や、ボウリング大会
を開催して腕を競いながら各社社員様達同士の交流を深めたり、有志
を募ってゴルフ大会なども開催しています。ただここ数年は他支部様
同様コロナ感染禍の中であって活発な活動ができなかった期間が長
く、漸く2023年度からそれ以前の形に戻りました。しかし①世代
交代の鈍化、②会員数の減少リスク、③会活動への参加者固定化傾
向、などの問題を抱えての活動です。そこで今回は宇都宮会長に就任
以来の感想や上記課題などに対する質問を投げかけお答えいただけ
ましたのでご報告させていただきます。

①(野口問い)

役員の世代交代については宇都宮新会長、川久保、内田両副会長が
新たに主導する事になりましたが、後の役員は交代制の如く同じメン
バーによるたらい回し状態です。この辺の事に対する会長のご見解は?

(宇都宮会長お答え)

まず感じているのが指導部メンバー交代の前に会員の方の世代交代が行われていない事が課題と感じています。コロナ期間中に会員各様の代表者が何社か交代がありました。しかし、代表者は交代されても支部会への参加される方々は最初の就任時の参加以降なく、引き続き以前より参加されている前社長様達に参加されている会社が多いと感じています。どの支部も同じですが前任の社長様が父親・母親であった場合どうしても親も参加している集まりに息子・娘としては参加しづらく感じ、また同年代の方が少なければそれも参加しづらく感じてしまう一因にもなっていると思います。私の場合は支部会一度目の参加から前任の社長は参加しなくなり却ってそれが現在の私自身の参加意欲につながっていると感じています。指導部のメンバー交代より前に支部参加者の世代交代がまず行われる必要があると考えています。

② (野口問)

会員数減少リスクについては現にコロナ期間中に1社退会されています。人口減少や人材不足、企業統合などで企業数が減少する状況の中どうやって支部を維持するのですか？

(宇都宮会長お答え)

会員減少に関しては人口減少や日本全体のねじに携わる会社が減少している中で、良し悪しに関わらず進行するものとまず考えるべきです。支部の形も人数が



多ければ良いというわけではなく大切なのは密度と考えており、活気と言い換えても良いと思います。支部の維持は活力があれば形や人数が変わってもできると思っています。

③ (野口問)

会活動への参加者の固定化も大きな問題と言えます。この辺は活動内容の在り方や動員手法でなにかお考えはありますか？ コロナ下でZoom会議の活用や、例会や執行部会の出欠を参加ソフトで集計して開催日を決めるなど、IT環境に強い会長のお考えはいかがですか？

(宇都宮会長お答え)

今年度も参加者2名までは無料としたり出欠をMicrosoft 365のTeamsでの回答をお願いしたりしながら運営しています。ただITの活用は利便性を高める為であったり活気につながるものではなく、むしろ足が重くなる要因になったりもします。活動の基本は対面式である事を忘れず活動していきたいと思っています。

④ (野口問)

就任以来の会長としての港浜螺会への想いや会員様に対してのお願い。

(宇都宮会長お答え)

初年度はコロナ感染禍前の活動に戻る事を最初の目標としていましたが、先ずはその目標は達成できたと思っています。会員の方々へは会活動への参加と世代交代を積極的にお願いする次第でございます。

【野口まとめ】

以上、会長は私からの質問に即座にお答えくださいました。世代交代については弊社も指摘の通りで、依然として私が組合に参加しています。せめて交代で出席できればよいのですが現社長の娘は子育ても並行しており、時間のやりくりが大変です。各社事情はあると思いますが、これも時間の経過を待たねば対応できずしばらくご容赦。会長が言われるように少数精鋭で組合を盛り立てるしか方法はなさそうですが、少数が精鋭を作るとも言われているので、現執行部を中心に結束を固め、お仲間にも積極的にお声がけて本年度も組合活動を頑張りたいと思います。

泰 鋌 会 だ よ り

泰 鋌 会 旅 行 記

泰 鋌 会 (有) 松 原 工 業 所 松 原 拓 哉



去る九月八日～十日にかけての泰鋌会大阪研修旅行会の執筆依頼を受けたので、拙文ではありますがこの度の出来事を書かせていただきます。

本年泰鋌会は「継往開来」をテーマに掲げ、コロナ禍で途切れていた幅広い交流を再開しております。また来年度はNOSTの開催が予定されております。そこで今回本来の旅行会は土曜日からの1泊2日の日程でしたが、泰鋌会幹事並びにOS会幹事様のご尽力により八日に合同の交流会が開催されました。(本稿では便宜上ここを1日目として記載いたします)

1日目は前述のとおりOS会様との交流会を「くれおーる」にて開催。両代表幹事(泰鋌会 真嶋さん、OS会(株) ホシック 西沢様)のあいさつの後、(株)三笠・鋌螺 高橋様の乾杯で会がスタート。久しぶりの交流で私含め初めましての方が多かったのか、お酒を酌み交わすと共に名刺交換がそこかしこで行われ、非常に熱気のある会となりました。中締めは金枝総吉さんが行い散会。その後は各々なんばの町に記憶と共に消えてゆきました。

2日目はサンコーインダストリー(株)様(以下サンコー様)を訪問し、最新のロジステイクスを見学。ねじ業界の物流を支える心臓部を間近に見るだけでなく、業務の最適化や従業員の見学など学ぶことが多く有意義な見学会でした。「つるとんたん」にて昼食の後、大阪観光名所の大阪城を見学。莫塵船に乗り普段は見えない

い角度からの石垣や大阪城の姿を見ながら歴史に思いを馳せる時間を過ごしました。夜はサンコー様との懇親会をなんばの「かに道楽本店」にて開催。

真嶋さんとサンコー様川畑取締役のあいさつの後、張ヶ谷さんの乾杯で始まり、カニ料理に舌鼓を打ちながら和やかに親睦を深めました。成島さんによる中締めの後、二次会という名のデイープな大阪へと飲み込まれていきました。

最終日は二日分の二日酔いを抱えながら、これも大阪名物のよしもと新喜劇を観劇。二日酔いも吹き飛ばような笑いの連続で、ライブならではの勢いやアドリブ、言葉遊びの妙を堪能。楽しい時間はあっという間で「蓬莱」での昼食の後、新大阪から新幹線にて帰路につきました。

最後になりますが本年泰鋌会幹事のお三方には、素晴らしい旅行会及びOS会様との交流の場を設けていただいたこと、参加の皆様とは楽しい時間を過ごせたこと改めて御礼申し上げます。



◇東鉾ゴルフ会報告◇

本年度第3回(通算第158回)の泰鉾会合同コンペが9月27日に行われました。成績は左記のとおりです。

第158回成績 茨城ゴルフ倶楽部	
順位	氏名
優勝	吉田賢一郎
二位	松島 徹
三位	小谷 彰宏
四位	山田 茂始
五位	石川 康隆
六位	時崎 雅広
七位	横島 忠和

本年度第4回(通算第159回)のコンペが11月16日に行われました。成績は左記のとおりです。

第159回成績 取手国際ゴルフ倶楽部	
順位	氏名
優勝	石川 隆一
二位	中村 勝士
三位	松本 浩
四位	野口 俊家
五位	吉田賢一郎
六位	新保 良孝
七位	時崎 雅広

組合の会議から

- ◇九月
 - 十一月 理事会 午後六時(東鉾会館)
 - ◇十月
 - 十八日 広報委員会 午後六時(東鉾会館)
 - 二三日 総務委員会 午後六時(東鉾会館)
 - ◇十一月
 - 一日 理事会 午後五時三〇分(東鉾会館)
 - 二二日 総務委員会 午後六時(ラ・プラスリー)
 - 二九日 広報委員会 午後六時(銀座レガル)
 - ◇十二月
 - 四日 流通経営委員会 午後六時(かつ吉)
 - 十一日 福利厚生委員会 午後六時三〇分(代々木今半)
 - 十三日 規格委員会 午後六時三〇分
 - 十八日 理事・監事会 午後六時(ちゃんこ巴湯)
- (東武ホテルレバント東京)



私の逸品

「巨大スプーン」

墨田支部 マハナジ株式会社 真 嶼 耕 治

新年あけましておめでとうございます。

私の自宅より自転車にて10分程度で行ける都立木場公園は春先は桜の名所、秋には「江東区民まつり」も開催され、東京都現代美術館もある大きな公園です。新型コロナウイルスの流行が始まった2020年春先は、学校は感染防止対策で一斉臨時休校となり春休みの延長を余儀なくされました。どこにも外出できず体力を持って余した怪獣を屋外の広い所で遊ばせたいと、自転車の練習も兼ねて連れて行きましたが、考える事は皆同じ……銀座の歩行者天国並みに混雑していたの思い出します。その頃は現代美術館も感染防止対策で閉館中でした。

この美術館では、現代美術を中心に、幅広いテーマ、ジャンルを扱った多彩な企画展と収蔵作品による「MOTコレクション」展が年に数回開催されています。

目の前に広がる木場公園と、その続きのように普段使いをしてもらえる美術館をコンセプトにしているパブリックスペースが整備されており、カフェやレストラン、美術図書室もあります。

興味のある展示をしている時は家族と食事がてら遊びに行っています。そして、今日は芸術では無く食欲の秋がメインです。美術館内B1Fに有るレストラン「100本のスプーン」は、広々としたゆとりでの席配置でアートと触れ合える様々な仕掛けが用意されています。子どもも大人も気軽にアート作品づくりに参加できる「アトリエ」という名のキッズスペース、メニューの表面は美術館らしいモチーフを使った塗り絵になっていて、料理が届くまでの待ち時間に子どもが楽しんだり。「絵になる席」と題し、自分の座席がリアルタイムにモニターに投影され、自分自身や家族が作品になってしまいう席もあります。ペーパークーでもそのまま入店でき月齢にあわせた離乳食(無料)や、離

乳食を卒業した子ども向けメニューと大人のものそのままの HALF SAIZU のメニューまで用意されているので、ご近所の子ども連れには人気のスポットです。土日やランチタイムは大変にぎわっており長時間待つ日もあります。予約も出来るので「興味の有る方はいかがでしょうか? パーティーなどでも人気の様です。」

まずは「ハインケン」と「白ワイン」で乾杯し、本日は「本日のデリカテッセン」、「まるごとバターチキンカレー」と「海老×海老のクリームパスタ」、そして、「アニバーサリープレート」を注文しました。巨大な木製スプーンに季節のフルーツで飾られたケーキが盛り込まれたメッセージプレートです。通常は誕生日や記念日のお祝いなどで注文するものと思えますが、今回は映えを狙って何の記念日でも有りませんが予約注文しました。



柄の部分には、新年号なので「Happy New Year」と書いて頂き、一足先に新年会気分です。味もお店の雰囲気も抜群です、宜しければ是非。

現在開催中の展覧会

MOT アニマル 2023

「シナジー、創造と生成のあいだ」 2024年3月3日(日)迄

MOT コレクション

「歩く、赴く、移動する 1923 ↓ 2020」 「特集展示 横尾忠則 水のように」 「生誕100年 サム・フランシス」 2024年3月10日(日)迄

豊嶋康子 発生法―天地左右の裏表 2024年3月10日(日)迄

『東京都現代美術館』 江東区三好4丁目1番1号
東京メトロ半蔵門線「清澄白河駅」B2より徒歩9分

レストラン『100本のスプーン』 東京都現代美術館内 B1F

営業時間11時～18時 定休日 月曜

撮影日 2023年11月2日(木)

情報室

神様からの贈りもの

広報委員 遠藤精螺工業株式会社 遠藤 達夫

私には二人の息子がいる。長男は私の家から五〇〇メートルの所に、次男は浦和に住んでいる。長男には二人の息子が、次男には三人の娘がおり、「じじ・ばば」にとっては、可愛い孫である。次男の孫が「病気になった」といっては、当時次男が住んでいた「つくば市」に、三日続けて車で飛んで行ったり、長男の孫が病気になったといは、夜中に自治医科大学病院まで行ったりした。

今までは、孫が病気になった時であったが、今年の八月に、次男の嫁が新型コロナウイルスに感染して、自宅室内隔離になった。その時には、私の家内が作った食事を三回浦和まで運んだ。十月には、長男の嫁が頭が痛いといは、一週間緊急入院になり、長男・孫と外食したり、私の家で一緒に食事をしたりと、家内にとっては忙しい日々だった。その時には、孫や息子達の家族のために、出来る事をしたという思いで苦にはならなかった。

先日家内が、「仕事と孫達の食事の支度で、本当に忙しくて大変だった」と知人に話したところ、それは、子供や孫達と会う時間を神様がくれた「神様からの贈りもの」だからと言われたという。言われてみれば、成程と思う。普段離れて暮らしている子供や孫と、一緒に食事

をしたり、遊んだり楽しい時間を過ごさせて良かったと思える。これからも「神様からの贈りもの」をたくさん貰いたいと思う。今年の夏は、猛暑の日々だった。私にとっては体力的にも厳しい夏で、十月に入って少し体調を崩した時もあった。これも「少し休んだ方がいいよ」という「神様からの贈りもの」かなと思う。

表紙のことば

江東区内の四神モニュメントとして東西南北に、青龍（東大島駅前広場）、白虎（豊洲2丁目）、朱雀（若洲公園）、玄武（亀戸駅前公園）が有ります。

「青龍」天の四方の方向をつかさどる神の内、東の方向を守護すると言われます。中国古代の思想に由来する「四神しじん」のひとつが有ります。辰年ということで今回はこちらのモニュメントをリスペクト致しました。

墨田支部 マハナネジ株式会社 真嶋 耕治

謹賀新年



令和六年 元旦

広報委員会一同

訃報

墨水支部 (株) コバユー

代表取締役 小林 潔 様 (元理事長)

九月二十日に逝去されました

謹んで哀悼の意を表しご報告いたします

小林潔さんに感謝を込めて

哀悼の意を捧げます。

前理事長 (株) 馬場 馬場 由喜

去る2023年9月20日、株式会社コバユー 代表取締役 小林 さんが、享年68歳という若さでこの世を旅立たれました。ご体調が思わしくないとはお聞きしておりましたが、突然の訃報に大変驚き、今でも信じ難い思いです。

潔さんと私の出会いは、恐らく、私が小学生の頃に参加致しました泰浜会家族会であったと思います。そして再会は、私が弊社に入社してからとなります。その中で、一番想い出深いことは、潔さんが、第14代東京浜螺協同組合理事長になり、私が副理事長をさせて頂いたことです。潔さんは、第13代今西浩一理事長の下、2年間、副理事長の責務を果たされ、私たち組合員の期待に応え理事長職を担う決意をされました。その後、潔さんが弊社にご来社され、ご本人から直々に、「理事長を拜命するので、副理事長を受けて頂けませんか」というお話を頂きました。その時は、戸惑いもありましたが、私のような若輩にお声を掛けて頂きましたことは、とても光栄なことであったと思っております。ましてや、伝統ある東京浜螺協同組合で初の女性副理事長を輩出するという勇気あるご決断に、潔さんの包容力の偉大さを感じております。そして潔さんが理事長就任期間の4年もの間、潔さんと深く関わりを持ってましたことは、今となりましては、大切な思い出



第59回通常総会で
退任の挨拶をされる
小林元理事長と
就任の挨拶をされる
馬場前理事長



となり、私の貴重な財産となりました。また、潔さん所属支部の墨水支部や当組合内では、「愛されキャラ」という一面もお持ちで、ユニークで親しみやすく、年齢の上下に関わらずご丁寧なご対応に、改めて寛大で温かいお人柄に敬意を表します。これから、組合の皆様との交流の中で、潔さんにまつわるお話をすることが、一つのご供養と思っております。

潔さん、安らかにお休み下さい。そして、私たちに笑顔を下さい。合掌。

(敬称は親しみを込めて「さん」付けと致しました)